神戸市PTA協議会

平成２８年度

専門委員会だより

社会育成委員会

2017年1月号

専門委員長会を開催

専門委員長が集まり、各専門委員会活動についての情報交換を行いました。

平成28年12月15日（木）神戸市総合教育センター

（上左から）五井さん・平石さん・伊豫本さん（下左から）藤田さん・安東さん

市Ｐ協専門委員長（敬称略）

組織・運営	伊豫本　仁信（布引中）
広　　報	平石　雄介（木津小）
研　　修	藤田　泰弘（岩岡中）
健全育成	安東　尚子（鈴蘭台小）
家庭教育	五井　雅史（本山中）

神戸市 PTA 協議会専門委員会

「専門委員会」は、神戸市ＰＴＡ協議会組織の中で、唯一単位ＰＴＡとの接点がある部分です。

専門委員会は、「組織・運営」「広報」「研修」「健全育成」「家庭教育」の５つがあり、各委員会は、神戸市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の５つの校種から、各区や各連合会から推薦された単位ＰＴＡ（以下単Ｐ）の本部役員、２６～２８人で構成されています。委員長、副委員長も単Ｐ会長でもあるので、単位や区、連合会等のＰＴＡ活動での話題や課題について、それぞれの委員会が特性を生かした中で話し合っていきます。

委員会活動は、一つの結果を求めるのではなく、話し合っていく過程が大変重要視されており、自己研さんや全市的な異校種での交流や、情報交換が、大きな目的でもあります。

28年度の専門委員会

本年度は、市Ｐ協の基本方針でもある、「支え合うＰＴＡ活動　―子供たちの健やかな成長を願って―」に基づき、専門委員会では主に、学校、家庭、地域連携のつなぎ手としてのＰＴＡ活動を考えるとともに、ＰＴＡそのもののあり方についても、改めて考えていく機会を持てるように活動してきました。

大きな団体としての、市Ｐ協や、連合会の活動は、普段の単位ＰＴＡ活動の中ではあまり意識しない部分であるかもしれませんが、単位ＰＴＡだけでは届きにくい声を、市Ｐ協が把握することで、確実に総意を伝えてきています。最近では中学校給食や、教職員削減への反対申し入れ、教育内容の充実、いじめ問題など、市教育委員会や市と協力体制を取りながら改善されていっていることも多くあります。

このような活動について、役員会や専門委員会に情報提供をさせていただいています。各委員の皆様には、単位や区Ｐ連に報告や話し合いの場を設け、反映させていただきたいと考えています。

毎月の専門委員会のテーマ・進め方工夫したことなど

専門委員会では、委員会ごとに年間の大きなテーマを決め、毎回の会議で、小テーマを決め、会議を進めていくというやり方を取っています。

会議は原則月一回のペースで行われます。

【組織・運営】

「気になる他校園のＰＴＡ活動を知ろう」をテーマに、７月から、まず「ＰＴＡ活動の課題」について各区や単位ＰＴＡを基準に話し合い、そこから「ＰＴＡ規約について」「ＰＴＡ予算と繰越金」「ＰＴＡ研修会」についてと、会議ごとに浮き上がって来た議題について、４～５人の班に分かれて話し合いました。規約を持ち寄って積極的に議論し合うなど、ＰＴＡ事情を情報交換することができ、各校園ＰＴＡの活動のヒントとなるような内容も多くありました。

組織・運営専門委員会　会議風景

【広報】

「誰もが読んでくれる『PTA 神戸』を作る！！」を大きなテーマに、委員会としては、年間３回のうち２回の機関紙「ＰＴＡ神戸」を作ります。今年は、小グループに分かれ、話し合い、最後に各グループの意見をまとめていきました。また写真やイラストで、記事内容を分かりやすく、目を引くようなレイアウトも意識しました。

（開業前の）工場施設内見学（東灘区内）

第 118 号（10 月 15 日発行済み）では「こんなん知っとう？　神戸オリジナル　特色ある学校園作り　修学旅行見聞録」を特集し、神戸の特徴的な教育や修学旅行先の決め方をする学校の取材を行いました。「神戸あるある」からの導入部など、読み手の興味を意識した紙面づくりに工夫しました。119 号（２月 15 日発行予定）では、中学校給食を中心に、中学校給食センターの工場見学の取材記事や、高校の学食メニュー、先生のお弁当など、会員の皆様に興味を持って読んでいただけるような内容から、食の安全や食育について考える内容になるように作り上げていく予定です。

委員会回数や負担の軽減を行って２年目ですが、今までと変わらず仲間意識の高い委員会です。

【研修】

人権研修会の受付風景（研修専門員会）

大きなテーマは「５校種合同研修会を成功させる」という目標です。

７月から「５校種合同研修会」を目標として、最初は校種を混ぜ、メンバーを変えながら、委員同士のコミュニケーション作りを図るためのグル

ープ討議を中心に行う中で、研修会の型式や、運営方法、役割を決めました。

今年度は１月24日（火）開催です。メインテーマを「家庭と地域と学校と」に決め、「学校や地域とＰＴＡの関わり方」「スマホ・ＳＮＳ」「発達障害」「給食」のＰＴＡが最も関心事である５つの分科会形式で開催します。分科会はPTA研究大会で行われることが多いですが、委員さんも初めての方が多く「いかに参加者が楽しく学んでいただけるか」を念頭に、試行錯誤の真っ最中です。

一方で、12月には市教育委員会が主催の「ＰＴＡ人権研修」での運営に関わることも経験しました。ここで得た運営方法や課題を、５校種合同研修会で活かすことはもちろんですが、今後の単位ＰＴＡや区Ｐの研修会でも運営のヒントになればと思っています。

【健全育成】

健全育成専門委員会のワールドカフェ

市Ｐ協の基本方針として25年度から継続している「大人のどうとく」を大きなテーマに、「何かおかしくない？」ということで、大人のＳＮＳトラブルや何でもハラスメントについて、２回にわたり協議し、「相手との距離の取り方」「最近気になる大人のモラルの欠落」「いじめについて（最近の事件から）」など、誰もが何か意見を持っている内容で、グループ討議を行ないました。

グループ討議もグループ分けからゲーム感覚で行ってみたり、ワールドカフェ形式を取り入れ、沢山の方と交流したり、またグループ別にじっくりと話し合ったりなど、委員さんがリラックスできて会議全体が盛り上がるよう工夫もしました。

【家庭教育】

大きなテーマは「専門委員相互で自由に意見交換しながら気づきや喜びを得られる会議」です。

初回に、毎月話したいテーマを決め、「自分の子供とどう接するか」「よその子供との係わり方」「子供がいじめられた時の親としての接し方や対処」「学校給食・食育について」と、親として関心の高い議題を中心に、グループ討議を行いました。

「ワールドカフェ形式」を委員さんが体験できる機会にもなるので、今回この方法を取り入れてみたところ、参加者全員が発言でき、またゲーム性もあり大変有意義な会となりました。（健全育成委員長にもこの形式を紹介しました）

専門委員会を通じて知ったことなど

最初は委員長も、全く専門委員会については分からないことだらけで、どうやって進めていったらいいのか、何をやったらいいのか…というところからのスタートでした。

けれども副委員長さんとの打ち合わせや委員さんの声や反応を聞きながら、回を重ねていくうちに、分かってきたことや、見えてくる課題など、得られたものは数多くあると思います。

【組織・運営】

いろいろな方との話し合いの中から広がる見聞の中で、地域や学校規模により大きな違いがあることを実感しました。

委員さんがそれぞれ、自分の学校園にも取り入れられること、参考にできることがあると気づいてくだされば、委員会としての成果があったと思います。

【広報】

取材し、記事を編集していくことで、単純な「広報紙作り」だけではなく、伝えることの重要性を学び、１回の発行に沢山の時間を要し、多くの人が関わっているのだということや、様々な学校園ＰＴＡ活動の特徴的な、オリジナリティや工夫を知ることができる良い機会になりました。

広報専門委員会で「PTA 神戸」の編集

【研修】

「５校種合同研修会」でのテーマや分科会別のテーマを決める中で、当初、５校種参加いうことで、ターゲットが広く、分科会内容の決め方が難しいかと思いましたが、親としての悩みは校種には無関係であるということを再認識しました。

また各分科会運営については、分科会責任者を設け、進め方など一切お任せしています。

そのため毎回参加の多い活気ある委員会となって、やりがいや連携を感じていただいています。

5校種合同研修会に向けて（研修専門委員会）

【健全育成】

初めてワールドカフェ方式を知り、委員の方に委員会に来てよかった、と感じていただけるために、円滑に運営するためにどうすればよいのかを学ぶことができました。

毎回、委員会のテーマに沿いつつも、委員の方が興味を持っている内容、また、委員会全員が、共に学びたいテーマは何かと考えることが、委員長としては大変有意義でした。

兵庫区Ｐのスマホのルール作りへの取り組みを詳しく紹介していただいた時には、「ＳＮＳでのトラブルやいじめが増えており、保護者も勉強して『家庭のルール』を話し合う必要がある」「相手との距離のとり方が上手くできないことが増えている。やはり、顔を合わせての会話が必要」など、「大人のどうとく力」を上げることが、子供の健全な成長にとても大切であると実感し、それを共有できるこの委員会の意義を強く感じました。

【家庭教育】

家庭教育専門委員会のグループ討議の様子

やはり、話し合っていくうちに地域性、子供の学年や、保護者の年齢層の違いから出てくる、考え方や捉え方が多岐に渡ることを実感していきました。横にも縦にも広がる視野に５校種が一堂に会す意味が良く理解できました。

情報交換

３月の専門委員会総会（活動発表会）で、任期は５月末までですが、自主的な活動はいったん終了します。この一年間で得られたことや、委員同士つながりは、今後に生かされると思います。

＊＊＊情報交換（要旨）＊＊＊

委員会の開催日について、毎回参加率が高くても、欠席者の固定化が見られる委員会もあります。

お仕事などの都合で、どうしても参加できる日が限られており、委員会開催日と合わない方がいることも一因だと思います。

最近では、２か月先まで日程を決めて、できるだけ委員の皆さんがスケジュール調整をしやすくされている委員会がほとんどです。

基本の週、曜日を固定している委員会もありますが、柔軟に対応しています。また、次回、次々回の委員さんの都合を聞いてから決めている委員会もあります。

開催時間については、幼稚園や特別支援学校、小学校低学年のお子様のおられるＰＴＡ参加を考慮すると、どうしても平日、午前中となってしまうことも課題です。

専門委員会は、５校種ＰＴＡの情報共有、資質向上と自己研さんを目的の一つとする、市Ｐ協の重要な位置づけではありますが、そのためにも、委員の皆さんの参加しやすさについても今後の課題であると思います。

29年3月13日（月）に、今年度の各専門委員会の1年間の活動を報告する、専門委員会総会が開催されます。

一般会員へも広くお声かけをいたします。ぜひ、ご参加ください。２９年度から専門委員として参加予定の学校園ＰＴＡの本部役員の方は特に、足をお運びいただきたいと思います。

各学校園へのご案内は２月初旬の予定です。また専門委員会活動は、神戸市ＰＴＡ協議会公式ＨＰからもご覧いただけます。（「神戸市ＰＴＡ協議会」で検索）

KOBE 神戸市PTA協議会
〒650－0044
神戸市中央区東川崎町１－３－２
神戸市総合教育センター内
TEL(078)360－3453